女性のがん検診ご案内

回覧

検診日	受付時間	検診会場
１０月１９日（火）	①　８：００～　８：３０ ②　９：００～　９：３０ ③１０：００～１０：３０ ④１１：００～１１：３０ ⑤１３：００～１３：３０ ⑥１４：００～１４：３０	としべつ 保健センター

申込受付期間　９/１３（月）～９/２４（金）

※お申込みについては、上記受付期間内にお願いします。
受付期間前には、お受けできません。

申込方法　電話又はメール、窓口でお申込みください

＊電話番号 0137-82-2780、平日8：30～17：15

＊メール imk-kenko@town.imakane.lg.jp

（住所、氏名、生年月日、連絡先、保険の種類、希望する健（検）診項目を伝えて下さい。）

検診機関　北海道結核予防会札幌複十字総合健診センター

≪検診の種類と料金について≫

	対象者	今金町国民健康保険加入者	社保等加入者	後期高齢者医療保険加入者
乳がん検診 （ﾏﾝﾓｸﾞﾗﾌｨｰ検査のみ）	20歳以上	1，500円	2，500円	1，500円
子宮頸がん検診 （経膣エコー含）	20歳以上	1，500円	2，000円	1，500円

★検診当日は、体調確認のうえ受診願います。また、手指衛生、咳エチケット等、感染対策の徹底にご協力お願いいたします。
また、新型コロナウイルス感染症の流行等により、中止となる場合があります。
中止となった場合は、申込者にすみやかにご案内いたします。
★託児をご希望の際はお申込みの際にお伝えください。

今年度の乳がん・子宮がん検診は今回(10/19)で最後になります。
忘れずに受診しましょう！

➡ 裏面につづく

【問い合わせ先】 保健福祉課健康づくりグループ　電話82－2780

◆乳がん

≪はじめに≫

乳がんは、乳房内の乳腺にできる悪性腫瘍です。４０～６０歳代に多いといわれていますが、最近は、２０～３０歳代の女性にも乳がんにかかる人が増えています。
早期に発見して治療を受ければ治すことができます。特に２センチ以下のしこりで、リンパ節への転移がない状態であれば、約９０％の人がほぼ完治しています。がんが小さいうちに発見できれば、大切な乳房を切除せずに済みます。
乳がんの初期の病変は手で触っただけでははっきりせず、見逃してしまうことが多いので、マンモグラフィー検査（乳房専用のＸ線撮影）や超音波検査を受けましょう。しこりを形成するがんが最も多いのですが、がんの性質によっては、しこりを作らない場合があります。また、乳頭から分泌物があり、分泌物に血が混じっているようであれば要注意です。

（引用：北海道保健福祉部子ども未来推進局「女性の健康手帳」より）

≪検査方法≫

乳がん検診は、マンモグラフィー検査を行います。

◆子宮がん

≪はじめに≫

子宮がんは、女性なら誰でも起こりうる病気です。初期の自覚症状がないので、２年に１度は必ず健診を受けましょう。子宮がんには２つの種類があります。

①子宮頸がん

初期段階では殆ど自覚症状がありません。３０歳以上にみられることが多かったのですが、最近は２０歳代での発症が増えています。子宮頸がんの発症には、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関係しています。HPVはごくありふれたウイルスで、性交渉によって感染します。女性の殆どが一度は感染する機会の多い感染症です。

②子宮体がん（※検診で不正出血など症状のある方が対象です）

初期段階では殆ど自覚症状はありません。出産経験の少ない女性がかかりやすく４０歳以上に多いがんです。

（引用：北海道保健福祉部子ども未来推進局「女性の健康手帳」より）

≪検査方法≫

子宮頸がん検診は、問診、細胞診とエコー検査を行います。

★ピンクリボンは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーンシンボルです。